



# Let's Make a Skit Presentation!

— ダイアログ中心のリスニング・スピーキング —

by

SHINJI OGASAWARA  
MELISSA RAMOS MACALALAD  
DAI HAMASAKI  
PINO CUTRONE

LISTENING



SPEAKING

EIHO SHA

# Let's Make a Skit Presentation!

—ダイアローグ中心のリスニング・スピーキング—

by

SHINJI OGASAWARA  
MELISSA RAMOS MACALALAD  
DAI HAMASAKI  
PINO CUTRONE

EIHO SHA

## はじめに

日本人にとって英語を話すことは、難しいとよく言われます。これは、日本人英語学習者である皆さんが実感されていることでしょう。視覚的に情報を処理できるリーディングやライティングと違い、スピーキングは頭の中で情報を処理しなければならないところにその理由があります。日本人は通常、英語を話す場合は、伝えたいことを日本語で考え、頭の中で英語に変換し、口に出すという作業を行います。これが、英語でコミュニケーションをとろうともなれば、リスニングした英語を頭の中で日本語に変換し、答えを日本語で考え、それを英語に変換、そして話すという非常に複雑な作業が待っています。難しいのは、当たり前なのです。

このテキストで目指すことは、この頭の中でのこれらの作業をもっと効率的に、そしてシンプルにすることによって、これまで中学・高校で学んできた文法能力を利用しながら、大学の授業で行う英語コミュニケーションの活動をもっと効率的に実践することです。そのため、日本語を介せずスムーズに表現が作りだせるように、このテキストでは単語レベルではなく、フレーズレベルで覚え、発話する練習を行います。

最終目標は、スピーキングの能力の養成ですが、同時にリスニングも鍛えられるように、本テキストは工夫されています。具体的には、モデルの英語の後に真似をして繰り返すリピートというテクニックを活動の中心としています。この手法は、英語を発話する訓練ですが、同時にリスニングの力も飛躍的に伸ばします。リピートをするためには、モデルの英語を瞬時に正確に理解し、再生することが大切だからです。

また、本テキストのサンプルダイアログは、ただ単に Question と Answer というパターンで終わってはいません。相手から答えをもらえば、それに対しての Reaction も必要となります。本テキストでは、Question – Answer – Reaction という一連の流れを基本単位とし、そこから、より長い英語会話が自然と体験できるように、工夫されています。

また、スピーキングとライティングは、発信型の能力という点では、共通のスキルです。英語はリスニングなどのインプット中心の学習のみでは、力がつきません。実際に自分で英語を書いたり、話したりするという発信型の練習をたくさん経験することが大切です。

各 Unit の後半では、前半で学習した内容を基に、自分で会話を作成する練習も用意されています。自分でダイアログを作成することにより、より英語の能力がついてきます。また、最終的には日本文化に関する簡単なプレゼンにも挑戦できるような練習問題が用意されています。模範例文などを参考にして、簡単なプレゼンにも挑戦してみてください。

本テキストの活用が、学生のみなさんの英語コミュニケーション能力の向上につながるものと著者一同、期待しています。

最後になりましたが、本テキストの作成にあたっては、英宝社社長佐々木元氏と編集長宇治正夫氏には、多大なる励ましのことばとご支援をいただきました。紙面をお借りして、厚く御礼申し上げます。

2012 年初夏

著者代表 小笠原真司

# 本書の使い方

## Part について

---

本書は、6つのパートと15のユニットから、構成されています。6つのパートには、それぞれ Lecture が用意されています。Lecture の内容は、英語コミュニケーションに必要な構文等に関するものです。文法項目の中から大学生が英語を話す際にもっとも大切な語順や、コミュニケーションに必要な疑問文、微妙なニュアンスを伝える助動詞などにしほって説明を行っています。Lecture を読むことで、各パートの学習がスムーズに進むようになっています。

## Unit について

---

### I. Sample Dialogue

Sample Dialogue が2つ用意されています。この Sample Dialogue は、すべて Question – Answer – Reaction のパターンで構成されています。会話の流れとしては、相手から Answer をもらった後の Reaction が特に大切です。適切な Reaction ができれば、さらに会話は続いていきます。Sample Dialogue でまず基本形を学習します。CD の英語モデルについて、しっかりリピーティングします。最後は、英文を見なくても、CD の後についてリピーティングができるようになるまで、徹底練習をします。

#### \*リピーティングについて

CD を利用して、聞いた英語を発話してみる練習が、Repeating (リピーティング) です。英語を文字のみで学習してもなかなか定着しません。また、聞き流すだけでも限界があります。文字で確認した英語を聞いて、さらに自分でしゃべってみるという練習法が一番効率的で、英語をどんどん頭の中にインプットすることができます。

リピーティングに似た練習方法に、shadowing (シャドーイング) があります。リピーティングが、センテンス (あるいは、ある程度まとまったフレーズ) を聞き終わってから繰り返すのに対して、シャドーイングは英語の流れを聞きながら、2~3語遅れて後を追うように英語で言う訓練です。モデルの音声を影のようについていくことから、シャドーイングとよばれています。これは、同時通訳の人たちが行う訓練のひとつです。

力がついてくればシャドーイングで、Sample Dialogue を行なってもかまいません。しかし、最初のうちは、意味を確認しながらのリピーティングを徹底的にしてください。

### II. Model Dialogue

ここでは、I の2つの Sample Dialogue が組み込まれた形で、少し長めの Dialogue が展開します。まず、全体をネイティブスピーカーによる自然なスピードの英語で聞いてみましょう。全体は速く感じるかもしれませんが、Sample Dialogue でしっかりリピーティングした部分の英文は、かなりはっきりと聞こえるはずですよ。

次に、問題の指示にしたがって、対話者のひとりとなり、CD のネイティブとダイアローグ

を展開してみましょう。一部、下線のみとなっていますが、I. の Sample Dialogue での練習を生かして、会話をしてみましょう。

### III. Conversation Practice

ここでは、まず英語会話の一部を聞き取り（リスニング）ます。ユニットで大切な表現を含むフレーズなどが空白となっていますので、下線部に英語を書き入れてみましょう。その後、解答を確認し、Conversation を完成します。

会話が完成したら、指示にしたがい、対話者のひとりとなり、CD のネイティブスピーカーと会話をします。自分のパートを話すときは、できるだけ文字から目を離して行くと、より効果的です。

\*本書の作成にあたり、もっとも工夫をこらしたのは、ダイアログや会話文の作成です。Model Dialogue や Conversation Practice の内容や英文は、筆者の小笠原真司が、ネイティブスピーカーの Melissa Ramos Macalalad 女史、Pino Cutrone 氏と念入りな検討を交えながら作成したオリジナルのダイアログや会話文です。Model Dialogue は 15、Conversation Practice は 33 作成しました。

録音の関係上、男性と女性の会話となっていますが、作成した多くのダイアログや会話は、男性同士、女性同士でも使用可能なものです。

### IV. Let's Write and Speak.

各 Unit の Model Dialogue や Conversation Practice で取り入れた表現を利用して、指定された英文に続けて 5 行のダイアログを作成します。もちろん必要な英語の部分は、自分で作成しなければなりません。作成するダイアログで使えるような表現は、Model Dialogue や Conversation Practice の表現を応用しましょう。英語に自信のない学生は、Model Dialogue や Conversation Practice をいろいろ組み合わせて作成してもかまいません。自信のある学生は、独創的なダイアログを作成してみましょう。作成したダイアログは、友人と比べたり、いっしょに会話練習をしてみましょう。

### V. Let's Talk about Japan.

ここでは、日本に関する英文を書く活動をします。各 Unit には、モデルとなる英文があり、その中から Useful Expressions が 3 題ピックアップされています。Useful Expressions を参考にして下線部に英語を書き入れ、英文を完成しましょう。各 Unit は、それぞれ日本に関するトピックが決められています。がんばって日本紹介の英文を作成してみましょう。完成したら、友人に英文を読んであげましょう。

# CONTENTS

## Part I 5文型を描こう!

<i>Lecture 1</i> 5文型を描こう!	00
Unit 1 言語機能別英会話 (1)	00
Unit 2 言語機能別英会話 (2)	00
Unit 3 主語として便利な we, you, they	00

## Part II 疑問文を使いこなそう!

<i>Lecture 2</i> 疑問文を使いこなそう!	00
Unit 4 疑問文のパターン (1)	00
Unit 5 疑問文のパターン (2)	00

## Part III 助動詞を使って気持ちを伝えよう!

<i>Lecture 3</i> 助動詞を使って気持ちを伝えよう!	00
Unit 6 助動詞を含む文 (1)	00
Unit 7 助動詞を含む文 (2)	00

## **Part IV 節を使って文章を作成してみよう!**

<i>Lecture 4</i> 節を使って文章を作ってみよう!	00
Unit 8 名詞節を含む文 (1)	00
Unit 9 名詞節を含む文 (2)	00

## **Part V 完了形、進行形、受動態、比較の文を適切に使おう!**

<i>Lecture 5</i> 完了形、進行形、受動態、比較の文を適切に使おう!	00
Unit 10 完了形の文	00
Unit 11 進行形、受動態の文	00
Unit 12 比較や程度を表す文	00

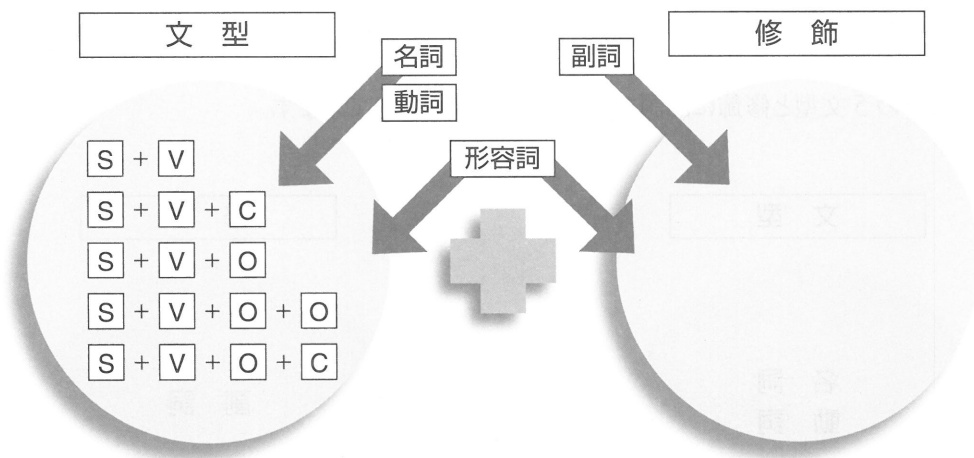
## **Part VI 動詞のパターンを意識して話そう!**

<i>Lecture 6</i> 動詞のパターンを意識して話そう!	00
Unit 13 Subject + Verb + Person + To do のパターン	00
Unit 14 Causative Verbs のパターン	00
Unit 15 See and Hear Verbs のパターン	00

# Lecture 1 5文型を描こう!

ここで挙げる“文”とは、英語の5文型と修飾のことです。まず、頭の中でシンプルな5つの文型が描けることが、英語を話すことの第一歩になります。

次に大切な文の要素は修飾です。頭で描くにはシンプルに捉えることが大切なので、まず“文”の中にある主語[S]・動詞[V]・補語[C]・目的語[O]と、それぞれを修飾する関係を整理してみましょう。



これで、基本的に文を思い描くベースはできました。このベースの上に、品詞を“のせる”イメージで、文を描いていきます。のせる品詞は、大きく4つに分類します。**名詞**・**動詞**・**形容詞**・**副詞**です。これらの4つで、文型を組み立て修飾し、文を作っていきます。

まず、上の図にある文、5文型のパターンを描きます。それぞれ、主語[S]・動詞[V]・補語[C]・目的語[O]と品詞の関連、そして注意点を知ることが大切です。

主 語[S] →主に名詞をおきます。日本語は、よく主語を省きます。

動 詞[V] →動詞は文の中心です。これで文型・時制を決めます。

補 語[C] →主に名詞や形容詞をおきますが、それ以外の品詞をおくこともあります。

目的語[O] →名詞をおきます。

5文型と品詞の関係を考えると、補語[C]に、形容詞がくることを注意すれば、あとは名詞と動詞だけ、“のせる”ことがポイントだとわかります。

次に修飾ですが、これもシンプルに捉えてみましょう。実は修飾できる品詞は2つです。頭の中で早く処理するために、“大まかに”以下のようにイメージしておきましょう。



形容詞→名詞を修飾する。

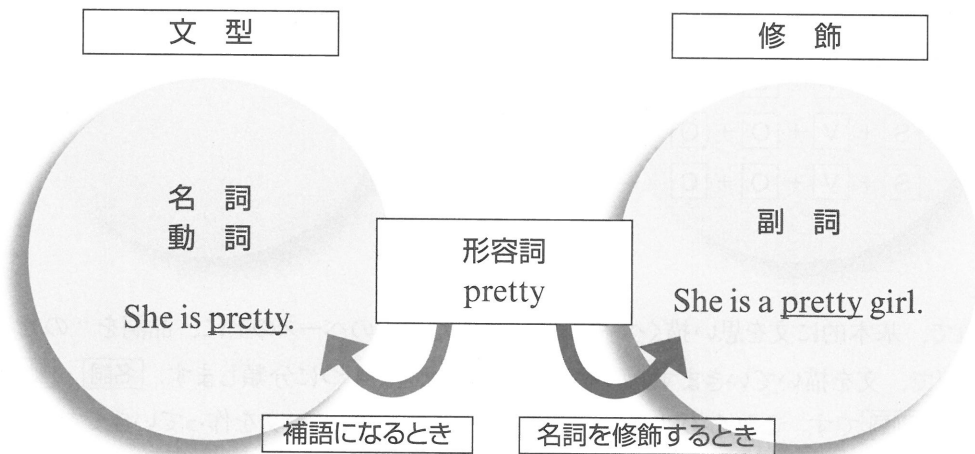
副詞→名詞以外を修飾する。



このイメージで考えると、修飾とは5文型を骨格とした文章に、肉付けしていく品詞であることがわかると思います。つまり、修飾とは、“つける”イメージになります。

あとは形容詞や副詞の位置が大切な要素になってきますが、文型に“のせる”場合や、修飾、つまり“つける”場合の違いを意識するだけでも、みなさんの頭の中をシンプルにできるものです。そして、この修飾のバラエティが、5文型という限られた文型を豊かに飾り立て、表現の細やかさや深さになる鍵になっているのです。

これまでの5文型と修飾に品詞を関連付けてイメージしてみます。



つまり、上記の図の2つをイメージすることが、まず文を描くファーストステップになるわけです。

Unit 1 と Unit 2 では、比較的短い一口英文が登場しますが、それらは、ここで説明した5文型のどれかに所属しています。文型を意識して学習すれば、それらの英文もすらすら頭に入っていきます。なお修飾に関しては、関係代名詞や分詞によるフレーズ不定詞も名詞を修飾することがありますが、Lecture 1では、触れていません。あくまで、短い基本的な英文を中心に解説しました。

また、表現の豊かさにつながるものは修飾だけに限らず、助動詞 (Part3) や構文、その他に様々な手法があります。それぞれの Unit で練習を重ねながら、理解を深めていきましょう！

# Unit 1

## 言語機能別英会話 (1)

この Unit では、まず、英語を単語レベルではなく、フレーズやセンテンスレベルで聞き取る練習をします。ターゲットとなる英文は、比較的短い英文ばかりです。言語機能の面から見ると、「質問する」「依頼する」「確認する」などに分類されるものです。

### I. Sample Dialogue



Sample Dialogue をリピーティングしましょう。

#### Sample Dialogue A

A: Excuse me. Do you have an extra pen?

B: I beg your pardon?

A: Er...do you have an extra pen?

#### Sample Dialogue B

A: Yes. I went to Tokyo on company business for three days.

B: How was your stay?

A: Great! Tokyo was so interesting!

### II. Model Dialogue



次の Dialogue を自然なスピードの英語で聞いてみましょう。次に、CD からは、Keiko の部分が流れますので、Sample Dialogue を参考にして、Tony になり、会話をしてみましょう。

*Two people seated beside each other on a flight from Narita to San Francisco are conversing.*

Keiko: Excuse me. Do you have an extra pen?

Tony: \_\_\_\_\_?

Keiko: Er...do you have an extra pen?

Tony: Oh, yeah. Here you are.

Keiko: Thanks a lot.

Tony: Sure. No problem.

Keiko: By the way, are you going back home to the US?

Tony: Yes. I went to Tokyo \_\_\_\_\_.

Keiko: How was your stay?

Tony: \_\_\_\_\_! \_\_\_\_\_.

### III. Conversation Practice

- (1) 次の英語会話を聞き取り、下線部に適切な英語を書き入れ、会話を完成しましょう。完成したら、次のトラックの CD を使いましょう。CD からは、Ken の部分が流れますので、Joanne になり、会話をしましょう!

*Two friends are commenting on the large crowds in a shopping mall.*

Ken: What's \_\_\_\_\_ ?

Joanne: I think there's a sale going on.

Ken: Let's go and look for bargains.

Joanne: \_\_\_\_\_ .

Ken: Okay, just stay where you are. \_\_\_\_\_ .

Joanne: No, I'll go to the bookstore and meet you there later.

Ken: Okay. \_\_\_\_\_ ?

Joanne: How about in 30 minutes?

Ken: Great! See you then.

- (2) 次の英語会話を聞き取り、下線部に適切な英語を書き入れ、会話を完成しましょう。完成したら、次のトラックの CD を使いましょう。CD からは、Ken の部分が流れますので、Sally になり、会話をしましょう!

*Ken and Sally are clarifying a misunderstanding at the bookstore.*

Ken: Hi Sally, how are you?

Sally: Where have you been? I've been \_\_\_\_\_ !

Ken: Oh no! Were we supposed to meet today?

Sally: Yes.

Ken: I'm so sorry. I completely forgot.

- (3) 次の英語会話を聞き取り、下線部に適切な英語を書き入れ、会話を完成しましょう。完成したら、次のトラックの CD を使いましょう。CD からは、Staff の部分が流れますので、Caller になり、会話をしましょう!

*A person is making a reservation for dinner at a Spanish restaurant by telephone.*

Staff: Amigos Restaurant, how may I help you?

Caller: Hello. Can I \_\_\_\_\_ ?

Staff: Certainly. How many people and for when?

Caller: Four people for tomorrow evening at seven o'clock.

Staff: Would you like the dinner course? It's 4,000 yen per person.

Caller: Do you \_\_\_\_\_ ?

Also, do you \_\_\_\_\_ ?

## IV. Let's Write and Speak.

Unit 1 で登場した表現を参考にして、5 行のダイアログを作成してみましょう。登場人物も自由に設定しましょう。

\_\_\_\_\_ : Can I make a lunch reservation for tomorrow?

\_\_\_\_\_ :

\_\_\_\_\_ :

\_\_\_\_\_ :

\_\_\_\_\_ :

## VI. Let's Talk about Japan.

モデル文を参考にし、Useful Expressions を利用して、自分の好きな地域（市や町）を英文で紹介してみましょう。

### Kanazawa (金沢)

As a castle town of the Kaga clan, Kanazawa flourished during the Edo period. It is located in the northern part of the Chubu region. Today, it is well known as a traditional and cultural city with a variety of arts and crafts. In addition to its traditional culture, many kinds of fresh local foods from the nearby mountains and sea are available in Kanazawa. So, it is often said that Kanazawa is a gastronomic city.

#### Words and Phrases

castle town 「城下町」

clan 「藩」

flourish 「栄える」

arts and craft 「美術工芸」

nearby 「近くの」

gastronomic 「美食の」

#### Useful Expressions

1. It is located in the northern part of the Chubu region.

「そこは、中部地方の北部に位置しています。」

2. Kanazawa is well known as a traditional and cultural city with a variety of arts and crafts.

「金沢は、多様な美術工芸品のある伝統的かつ文化的な町としてよく知られています。」

3. It is often said that Kanazawa is a gastronomic city.

「金沢は、美食の町だと、しばしば言われています。」

1. \_\_\_\_\_ is located in \_\_\_\_\_.

2. \_\_\_\_\_ is well known (as/for) \_\_\_\_\_.

3. It is often said that \_\_\_\_\_ is (a/an) \_\_\_\_\_  
(city/town).

## Unit 2

### 言語機能別英会話 (2)

この Unit でも、まず、英語を単語レベルではなく、フレーズやセンテンスレベルで聞き取る練習をします。ターゲットとなる英文は、比較的短い英文ばかりです。

言語機能の面から見ると、「説明する」「報告する」「承諾する、断る」「賛成する、反対する」「意見を言う」「忠告する」「話しかける」「お礼を言う」「褒める」「謝罪する」などに分類されるものです。

#### I. Sample Dialogue



Sample Dialogue をリピートしましょう。

##### Sample Dialogue A

- A: Here we are at the Outback Steak House.  
B: Let's hurry inside. I'm starving!  
A: Let's order today's special.

##### Sample Dialogue B

- A: It's making my mouth water.  
B: By the way, today's lunch is my treat. It is your birthday after all.  
A: Thank you very much.

#### II. Model Dialogue



次の Dialogue を自然なスピードの英語で聞いてみましょう。次に、CD からは Ben の部分  
が流れますので、Sample Dialogue を参考にして、Mary になり、会話をしてみましょう。

*Ben took his friend Mary to his favorite steak restaurant.*

- Ben: Here we are at the Outback Steak House.  
Mary: \_\_\_\_\_ . I'm \_\_\_\_\_ !  
Ben: Let's order today's special. It looks good!  
Mary: Yeah, \_\_\_\_\_ .  
Ben: By the way, today's lunch is my treat. It is your birthday after all.  
Mary: Thank you very much.

### III. Conversation Practice

- (1) 次の英語会話を聞き取り、下線部に適切な英語を書き入れ、会話を完成しましょう。完成したら、次のトラックの CD を使いましょう。CD からは、Mr. White の部分流れますので、Mr. Smith になり、会話をしましょう！

*Mr. White just moved to a new neighborhood. He wanted to know about the garbage collection schedule, so he went to ask his next-door neighbor about it.*

Mr. White: Hi, I'm Jim White, your new neighbor. I would like to ask you something.

Mr. Smith: Sure. \_\_\_\_\_ ?

Mr. White: Yes, thank you.

Mr. Smith: \_\_\_\_\_ . I'm Kendra Smith. Mr. White, please have a seat. \_\_\_\_\_ ?

- (2) 次の英語会話を聞き取り、下線部に適切な英語を書き入れ、会話を完成しましょう。完成したら、次のトラックの CD を使いましょう。CD からは、Mother の部分流れますので、Dave になり、会話をしましょう！

*A mother is telling her son to stop smoking.*

Mother: Dave, it's very easy to stop smoking.

Dave: \_\_\_\_\_ on that point.

Mother: Well, you should at least try.

Dave: Mom, \_\_\_\_\_, will you?

Mother: \_\_\_\_\_, young man!

Dave: Sorry, Mom. Okay, \_\_\_\_\_ .

- (3) 次の英語会話を聞き取り、下線部に適切な英語を書き入れ、会話を完成しましょう。完成したら、次のトラックの CD を使いましょう。CD からは、Patient の部分流れますので、Nurse になり、会話をしましょう！

*A patient is asking a nurse how to get to a doctor's office.*

Patient: Excuse me, do you know where Dr. Jane Green's office is?

Nurse: It's on the second floor, Room 203. You can \_\_\_\_\_ .

Patient: Thanks a lot. Is she there right now?

Nurse: No, she's out for lunch but \_\_\_\_\_ .

## IV. Let's Write and Speak.

Unit 2 で登場した表現を参考にして、5 行のダイアログを作成してみましょう。登場人物も自由に設定しましょう。

\_\_\_\_\_ : I would like to ask you something.

\_\_\_\_\_ :

\_\_\_\_\_ :

\_\_\_\_\_ :

\_\_\_\_\_ :

## VI. Let's Talk about Japan.

例文を参考にして、自分の地域（県）を 5 行程度の英文で紹介してみましょう。

### The Ogasawara Islands (小笠原諸島)

The Ogasawara Islands are a volcanic archipelago in the Pacific Ocean and a part of Tokyo Prefecture. They are about 1,000 kilometers south of Tokyo and can be reached by an overnight ferry that runs once a week. While the Ogasawara Islands consist of many islands, only the two largest islands called “Father Island” and “Mother Island” are inhabited. The Ogasawara Islands are famous for their unique fauna and flora.

#### Words and Phrases

volcanic 「火山性の」

archipelago 「諸島、列島」

once a week 「週一便」

inhabited 「人が住んでいる」

fauna and flora 「動植物」

#### Useful Expressions

1. The Ogasawara Islands are a volcanic archipelago in the Pacific Ocean.  
「小笠原諸島は、太平洋の中の火山列島です。」
2. The Ogasawara Islands can be reached from Tokyo by an overnight ferry that runs once a week.  
「小笠原諸島は、東京から一週間に一回運行の一晩かかるフェリーで行けます。」
3. The Ogasawara Islands are famous for their unique fauna and flora.  
「小笠原諸島は、独特の動植物で有名です。」



1. \_\_\_\_\_ (are/is) \_\_\_\_\_ in the \_\_\_\_\_ Ocean.
2. \_\_\_\_\_ can be reached from \_\_\_\_\_ by \_\_\_\_\_.
3. \_\_\_\_\_ (are/is) famous for \_\_\_\_\_.